

## 第3回101スーパーキストーナメント結果

2006年5月21日 磯ノ浦海岸にて開催

2006年の初夏は何時になく低水温で推移、連日寄せられる各地からの釣果情報もムラが激しい模様。そんな中、キス釣り愛好家たちの憩いの場である和歌山市磯の浦海岸にめいめいお気に入りのタックルを手に近畿各地からキャスターたちが終結した。

この日はサンテレビ系列、オール阪神さん司会の”ビッグフィッシング”の取材が入り、さあ張り切って釣るぞと浜に飛び出してはみたものの、日が高くなるにつれ、海岸全体を埋め尽くすサーファーの群れ又群れ！「キスは足で釣れ」とはいうけれど、釣り人のほうは猫の額ほどの区間に閉じ込められて殆ど身動きもできない状態に釣果の方も惨憺たる結果に終わってしまった。

この浜は京阪神からのサーフィン客でごった返すため、やはり休日は厳しく投げたシンカーがサーファーの方に飛んで行きヒヤリとする場面もあった。磯の浦観光協会には会の趣向ならびに大会開催届を出しているにもかかわらず、全く何らサーフィンとの区別がなされていない状態。釣りは先ず安全第一。日曜日にこの浜での開催が果たして可能なかどうか？それにこのような釣り辛い状況が続くとすると次第にキャスターの足も遠のくのも時間の問題と思われ今後の課題となった。

一方この日は地元の中学生3人組のキャスターが大人顔負けの鋭いスイングを披露。70年代、私たちが中学生だった頃のこの浜は、規制前の工場廃液が漂い、魚の死骸がぷかぷかという悲惨な状況でした。最後にこの日参加したキャスター全員で少しでも綺麗にと清掃活動で汗を流した。



第3回大会成績表		
参加者 31名		
審査 キスの総匹数		
順位	氏名	匹数
1	木村貴司	14
2	小山昌彦	12
3	外山均	12
4	本屋敷保生	11
4	野村道雄	11
6	杉峠龍弥	10
6	岩倉年彦	10
6	山本輝彦	10
9	藤原靖典	9
9	仁井名洋	9



上位4名左から外山氏・木村氏・小山氏・本屋敷氏



